

研究課題名	HPV感染症およびHPVワクチンに対する小児科医の意識変化の調査
研究の意義・目的	大阪小児科医会では、2020年1月～2月と2021年6月～7月に、HPVワクチンに関する会員アンケート調査を事業として実施しました。HPVワクチン接種の積極的勧奨の差し控えが続いているわが国において、接種の現場を担当されている小児科医の先生方がHPV感染症やHPVワクチンに対してどのように考えているか、また、現在の厚生労働省の姿勢に関してどのように考えているかについてお聞かせいただきました。本研究では、アンケート情報をさらに詳細に分析し、現在の問題点を抽出するとともに、小児科医の先生方の意識がどのように変化したかについても評価していきます。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日 ～ 2024年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	大阪小児科医会で2020年1月～2月および2021年6月～7月に行われた、第1回および第2回「HPVワクチンについての会員向けアンケート調査」(無記名方式)にご回答いただいた会員の先生方
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	当時のアンケート調査でご回答いただいた情報を、本研究に使用させていただきます。
試料・情報の他機関への提供	当時のアンケート調査でご回答いただいた情報は、大阪小児科医会から大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学へ提供されます。大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学から他機関へ情報を提供することはありません。
この研究を行っている共同研究機関	大阪小児科医会
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 教授 福島若葉 大阪小児科医会 感染症対策委員会 副委員長 久保田恵巳
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 学外研究員 久保田恵巳 メールアドレス：kubota.megumi@med.osaka-cu.ac.jp